

私立大学情報教育協会
平成27年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

F-3班御神輿

1

発表テーマ

社会で生き抜く力の育成

2

テーマ選定理由(1) 大学の役割

社会基盤(人材・学問)の整備

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

人材育成

基礎研究

学びの提供

地域振興

学生生活支援

3

テーマ選定理由(2) 大学の現状

各項目の現状課題と提案

人材育成

就職が目的化 生き抜く力の不足

基礎研究

企業とのつながり不足 → 橋渡しの機関の創設

学びの提供

ICTの活用 → 地域の問題に対し学術的情報の公開

学生生活支援

学生が社会・企業に無関心 → 社会に触れる機会の増加

地域振興

地域との連携が不十分 → 地域振興の立案コンペ開催

4

テーマ選定理由(2) 大学の現状

・人

話し合いの中で挙げたキーワード

・基礎研究

企業との

企業の求める能力

・学びの提供

ICTの活用

自分で判断する力

・学生生活支援

学生が社会・企業に無関心 → 社会に触れる機会の増加

・地域振興

企画・立案する力

地域との連携が不十分 → 地域振興の立案コンペ開催

テーマ選定理由(2) 大学の現状

発表のテーマは・・・

社会で生き抜く力の育成

・基

・学

ICTの活用

自分で判断する力

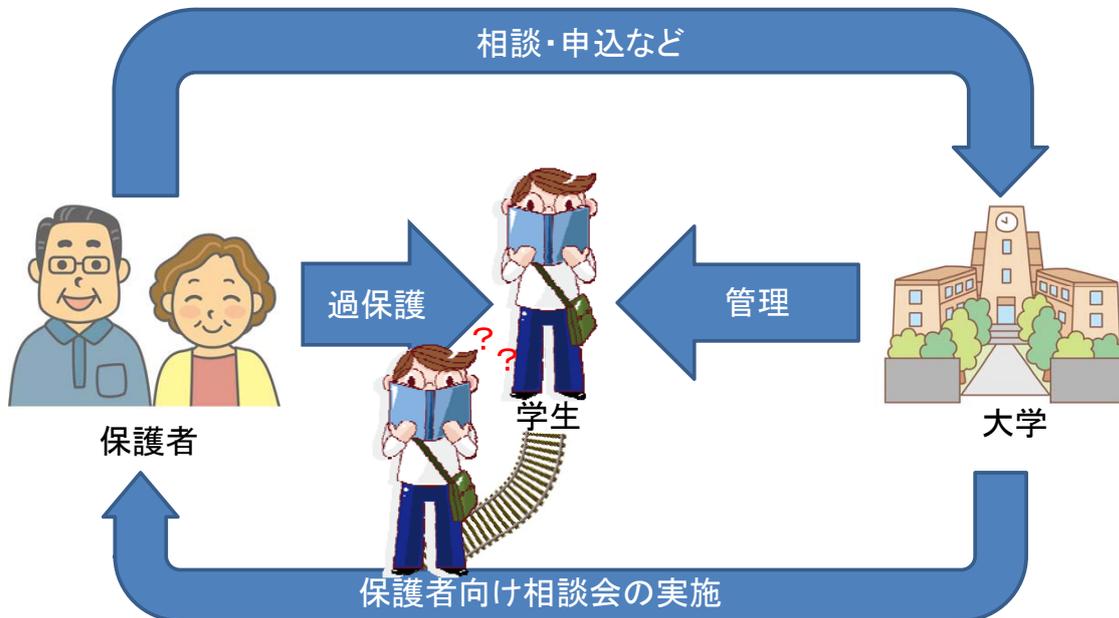
社会で生き抜く力とは・・・

①自律・自立心

②ストレス対応力

問題点(①自律・自立心)の深堀

①自律・自立心



7

解決策(①自律・自立心)の検討

自律・自立心

→卒業・就職のサポートより、成長へのサポートをするべき

- ①大学で行うサポートを見直し、
大学の考え方と具体的なサポート内容の明示/周知
- ②社会に目を向け事業を体験する機会の提供

8

問題点(②ストレス対応力)の深堀

②ストレス対応力

[あるべき姿]

社会での様々なストレスに自分なりに上手く付き合える

[現状1]

自分/他人のストレスポイントを理解しないまま社会に出ている

[現状2]

社会でのストレスを知らない

[なぜ違いが起きるのか]

・知識(回避方法や対応方法)がない

解決策(②ストレス対応力)の検討

ストレス対応力講座の実施

①自分と他人のストレスポイントのチェック

→自己分析等での把握⇒自己理解

→価値観の認め合い⇒相互理解

②OB/OGから社会ストレス経験を聞く

→業種業界問わず聞く⇒就職後のイメージ形成

③法律・心理学関連の知識の習得



ストレス対応力の向上

大学のイノベーションの提案

大学とは・・・

過去

学問を普及する場

学問を学ぶまで

現在

社会に出る準備・教育をする場

就職するまで

今後

社会で生き抜く力を育成する場

就職後

社会で生き抜く力



人生を豊かにする力

人生を見据えた教育